

大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び 施設等整備状況調査結果について（令和5年度）

1. 調査の目的

本調査は、大学等の設置等が認可された学校法人に対し、その健全な経営の確保に必要な指導、助言を行うため、「学校法人の寄附行為及び寄附行為の変更の認可に関する審査基準（平成19年文部科学省告示第41号）」に基づき、大学等設置に係る寄附行為（変更）認可時の附帯事項等が確実に履行されているかを確認し、併せて学校法人の経営の実態及び施設等の整備の進捗状況を把握することを目的としている。

2. 調査の方法・内容

調査方法は、大学設置・学校法人審議会学校法人分科会が、原則として、開設年度に入学した学生が卒業する年度（完成年度）までの間、認可を受けた者に対して書類調査を実施し、必要に応じて、面接調査又は実地調査により行っている。

調査内容は、①認可以降の意見等の履行状況、②施設・設備の年次計画の実施状況、③経営の実態（役員の就任状況などの管理運営面、資産・収支状況などの財政面）について行っている。

3. 令和5年度調査結果の概要

調査対象学校法人は全119法人であり、今回の調査の結果、指摘が付された学校法人は94法人であった（表1及び別添参照）。なお、具体的な指摘の例（延べ法人数）は以下のとおり。

- 資産総額変更登記・代表権登記の遅延により、法令の規定に抵触しているもの（法令違反：7法人）
- 財務書類等備付けの遅延により、法令の規定に抵触しているもの（法令違反：6法人）
- 評議員が寄附行為に定める数に対して欠員があるため、是正を求めるもの（是正：2法人）
- 理事会・評議員会について、法令又は寄附行為に基づいた運営がなされていないため、開催順序等の是正を求めるもの（是正：9法人）
- 監事監査において教学監査を実施していないため、大学等での充実した教育研究の観点から監査に関する計画の是正を求めるもの（是正：11法人）
- 入学定員の未充足（0.5倍以下）の学科について、健全な法人経営の観点から収容定員の変更の見直しなどの早急な是正を求めるもの（是正：29法人）（※）
- 入学定員の未充足（0.5倍超～0.7倍未満）の学科について、健全な法人経営の観点から改善を求めるもの（改善：43法人）（※）
- 経常的な収支が継続してマイナス（赤字）となっていることから、収支の改善を図り、経営基盤の安定を求めるもの（改善：29法人）

（※）新設学科だけではなく、既設の学科も対象

(表 1)

調査対象学校法人		1 1 9 法人
指摘が付された学校法人		9 4 法人
	法令違反	1 3 法人
	是正	4 6 法人
	改善	7 7 法人

(注) 同一法人に各区分の指摘事項が付された場合にはそれぞれで計上。

4. 履行状況報告書の情報公開等

大学等設置に係る寄附行為(変更)認可後の財政状況及び施設等整備計画の履行状況等を記載した報告書(以下、「履行状況報告書」という)を、学校法人として積極的に公開することが期待される。なお、設置認可と認証評価の有機的な連携の一助として、各認証評価機関に対しても、本調査の結果を参考送付する。

参 考

1. 用語の定義

種 類	定 義
附 帯 事 項	認可を受けた者が計画を履行するに当たって遵守すべき事項及び充実することが望まれる事項
指摘事項（法令違反）	法令に抵触すると認められる事項があり、学校法人に必要な措置をとることを求める事項
指摘事項（是 正）	管理運営上著しく不適切と認められる事項があり、学校法人に早急な是正を求める事項
指摘事項（改 善）	寄附行為に基づいた運営がなされていない場合や、設置計画に基づいた整備がなされていないと認められる事項があり、学校法人に改善を求める事項。（認可時の附帯事項及び指摘事項について、引き続き改善を求める場合を含む。）

2. 関係法令等

○学校法人の寄附行為及び寄附行為の変更の認可に関する審査基準

（平成19年文部科学省告示第41号）（抄）

第6 その他

- 3 文部科学大臣は、第1から第5までの規定に基づく認可に係る計画及び附帯事項の履行の状況及び学校法人の経営の実態を確認するため必要があると認めるときは、書類、実地等による調査を実施するものとする。

主な事例の指摘対象学科等一覧

○代表的な指摘事項及び指摘法人について

(1) 登記等の遅延等

① 資産総額変更登記の遅延、代表権の登記、財務書類等が備付けの遅延

①-1 資産総額変更登記の遅延（組合等登記令第三条）

法人名	
【改善】 1法人	新潟青陵大学

※登記は3か月以内になされているため法令違反ではないが、法人の寄附行為に規定している「2か月以内」を超えているため、【改善】指摘事項として付す。

①-2 代表権登記の遅延（組合等登記令第二条）

法人名						
【法令違反】 7法人	穴吹学園	北里研究所	滋慶学園	城西大学	新潟科学技術学園	兵庫医科大学
	福島学院					

①-3 財務書類備付けの遅延により、法令の規定に抵触しているもの（私立学校法第四十七条）

法人名						
【法令違反】 6法人	大阪信愛女学院	滋慶学園	豊田学園	深堀学園	平成医療学園	北陸大学

(2) 理事会・評議員会の運営等

① 評議員が寄附行為に定める数に対して欠員があるため、是正を求めるもの

法人名		
【是正】 2法人	赤門学院	立教学院

② 理事会・評議員会について、法令又は寄附行為に基づいた運営がなされていないため、開催順序等の是正を求めるもの

法人名						
【是正】 9法人	赤門学院	大阪信愛女学院	神山学園	北里研究所	昌賢学園	昭和女子大学
	高崎健康福祉大学	津曲学園	深堀学園			

(3) 教学監査の未実施

① 監事監査において教学監査を実施していないため、大学等での充実した教育研究の観点から監査に関する計画の是正を求めるもの。

法人名						
【是正】 11法人	神山学園	巨樹の会	高野山学園	聖カタリナ学園	中京学院	天理大学
	東海大学	豊田学園	新潟科学技術学園	兵庫医科大学	ミスバリ学園	

主な事例の指摘対象学科等一覧

(4) 入学定員未充足 (※新設学科だけではなく既設の学科も対象としている。)

①入学定員の未充足(0.5倍以下)の学科等について、健全な法人経営の観点から定員変更を含めた速やかな是正を求めるもの

【是正】 29法人		法人名					
		赤門学院	穴吹学園	大阪信愛女学院	大阪滋慶学園	菊武学園	高野山学園
		国際ビジネス学院	越原学園	佐久学園	修文学院	松蔭学園	尚綱学園
		昌賢学園	湘南ふれあい学園	青淵学園	園田学園	都築学園	富澤学園
		豊田学園	新潟科学技術学園	日本医療大学	深堀学園	福岡女学院	福島学院
		文理学園	平成医療学園	北陸学院	武庫川学院	本山学園	

②入学定員の未充足(0.5倍超～0.7倍未満)の学科等について、健全な法人経営の観点から改善を求めるもの

【是正】 43法人		法人名					
		藍野大学	帯広大谷学園	加計学園	河崎学園	菊武学園	共立女子学園
		響和会	金蘭会学園	敬心学園	高知学園	越原学園	修文学院
		松蔭学園	尚綱学園	城西大学	常翔学園	青淵学園	聖カタリナ学園
		園田学園	中京学院	都築学園	津曲学園	天理大学	中西学園
		永守学園	新潟科学技術学園	新潟総合学院	新潟総合学園	日本医療大学	柏専学院
		濱名山手学院	東日本学園	広島文化学園	福島学院	福原学園	北陸学院
		北陸大学	松本学園	ミスパリ学園	武庫川学院	本山学園	吉田学園
		柳城学院					

(5) 経常的な収支がマイナス

①経常的な収支が継続してマイナス(赤字)となっていることから、収支の改善を図り、経営基盤の安定を求めるもの

【改善】 29法人		法人名					
		暁学園	医療創生大学	大垣総合学園	大阪信愛女学院	大谷学園	加計学園
		河崎学園	金城学院	金蘭会学園	敬心学園	高知学園	修文学院
		尚綱学園	昌賢学園	神野学園	清泉女学院	園田学園	天理大学
		徳洲会	奈良学園	新潟科学技術学園	新潟総合学院	柏専学院	福岡学園
		福島学院	睦学園	本山学園	柳城学院	和歌山信愛女学院	

令和5年度大学等設置等に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査指摘事項

調査対象 119法人

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
1	藍野大学	R2	専門職大学新設	びわこリハビリテーション専門職大学	リハビリテーション学部		<ul style="list-style-type: none"> ・大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針（リスクシナリオ）について、マイナスの状態が継続している部門においては、収入の増加と支出の削減に関する方策の効果を更に分析し、当該分析結果を踏まえた上で中長期的な財務計画を立案するとともに、当該計画を着実に実施すること。また、どのような場合にどのような方策をとっていくかについて検討を行い、具体的のあるリスクシナリオを作成すること。【是正】 	<ul style="list-style-type: none"> ・経常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、かつ、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（びわこリハビリテーション専門職大学リハビリテーション学部作業療法学科） ・流動負債に対する流動資産の割合が悪化傾向にあることから、計画している改善に向けた取組を着実に実施し、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】
2	暁学園	R2	学部の学科増設	四日市看護医療大学	看護医療学部 臨床検査学科			<ul style="list-style-type: none"> ・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】
3	赤門学院	R5	専門職大学新設	電動モビリティシステム専門職大学	電気自動車システム工学部		<ul style="list-style-type: none"> ・評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。【是正】 ・会議の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【是正】【理事会及び評議員会の開催順序（令和5年度当初予算）】 ・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】（電動モビリティシステム専門職大学電気自動車システム工学部電気自動車システム工学科） ・学校法人は予算に基づき教育研究活動等を行う必要があることから、寄附行為に基づき、適切な時期に予算を作成すること。【是正】 ・申請時から資金収支計画及び事業活動収支計画の収入の見込みが異なっていることを踏まえ、改めて完成年度までの新たな資金収支計画及び事業活動収支計画を策定するとともに、当該計画等に基づき、大幅な定員未充足が継続した場合の対応方針（リスクシナリオ）を策定すること。その上で、学校法人全体で収入の増加と支出の削減について更なる検討及び着実な実施に取り組むこと。【是正】 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が極めて低いことから、定員未充足を学校法人全体の課題と捉え、定員未充足の要因の分析結果やこれまで実施してきた個々の取組の効果等の検証結果を踏まえて、法人の学生募集に係る戦略を明確化させ、当該戦略に基づく具体的な計画を新たに策定し、実行すること。例えば、オープンキャンパスの実施回数の増加や本学が養成する人材が自動車関連企業等から高い関心を持たれていること等について広報するなど、受験対象となる者への積極的な広報に努めるなどの改善を図ること。【改善】
4	穴吹学園	R3	専門職短期大学新設	せとうち観光専門職短期大学	観光振興学科	<ul style="list-style-type: none"> ・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】（代表権登記） 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】（せとうち観光専門職短期大学観光振興学科） 	<ul style="list-style-type: none"> ・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人の平均値に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に取り組むこと。【改善】 ・法人内におけるけん制機能、自律的な違法は正がなされるよう、特に以下に留意し、監査体制の整備に取り組むこと。【改善】 ○監事は、監査計画を策定した上で、教学監査を含む私立学校法第37条第3項の業務監査を実施すること。 ○監事、監査法人及び内部監査室において連携を図りつつ、それぞれの役割を果たすことにより、法人内におけるけん制機能を充実させること。 ・収容定員を変更する部門について、収支均衡を前提とした中長期的な改組等の計画やそれに伴う財務計画を策定・実行することにより、セグメント単位での経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
5	追手門学院	R5	学部増設	追手門学院大学	法学部			
6	大阪医科薬科大学	R3 R3	学部 研究科増設	大阪医科薬科大学 大阪医科薬科大学大学院	薬学部 薬学研究科 (M,D)			・負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。【改善】
7	大阪信愛学院	R4	組織変更(大学 新設)	大阪信愛学院大学	教育学部、看護学部	・財務書類等の備付が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】	・会議の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【是正】 【・理事会及び評議員会の開催順序(・令和3年度決算・令和4年度監事の監査報告・中期計画の変更)】 ・定員充足率が極めて低いことから、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】(大阪信愛学院大学教育学部教育学科) ・評議員の選任条項で定めている数と実際に就任している評議員の数が異なっているため、寄附行為に則り選任すること。【是正】 ・大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針(リスクシナリオ)について、完成年度時点での収支が均衡する在籍学生の数(損益分岐点)を算出し、収入の増加と支出の削減に関する方策の効果を更に分析し、当該分析結果を踏まえた上で中長期的な財務計画を立案するとともに、当該計画を着実に実施すること。また、どのような場合にどのような方策をとっていくかが不明確であることから、改めて具体性のあるリスクシナリオを作成すること。【是正】	・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。【改善】 ・教育学部教育学科の学生確保の取組については、定員未充足の要因の分析結果やこれまで実施した個々の取組の効果等の検証結果を踏まえて、法人の学生募集に係る戦略を明確化させ、当該戦略に基づく具体的な計画を新たに策定し、実行すること。【改善】
8	大阪滋慶学園	R3	学部増設	滋慶医療科学大学	医療科学部	・定員充足率が極めて低いことから、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】(滋慶医療科学大学医療科学部臨床工学科)	・大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針(リスクシナリオ)について、完成年度時点での収支が均衡する在籍学生の数(損益分岐点)を算出し、特に収入の増加と支出の削減に関する方策の効果を更に分析し、当該分析を十分行った上で中長期的な財務計画を立案するとともに、当該計画を着実に実施すること。【是正】	・令和4年度中に開催された評議員会の実出席率が低いことから、実出席を増やすよう努めること。【改善】 ・学生確保の取組について、定員未充足の要因の分析結果や、これまで実施した個々の取組の効果等の検証結果を踏まえて、法人の学生募集に係る戦略を明確化させ、当該戦略に基づく具体的な計画を新たに策定し、実行すること。【改善】
9	大阪成蹊学園	R5	学部増設	大阪成蹊大学	看護学部、 データサイエンス学部			
10	大手前学園	H31 R2 R5	学部増設 短期大学の学科 増設 研究科増設	大手前大学 大手前短期大学 大手前大学大学院	国際看護学部 歯科衛生学科 国際看護学研究科(M)			
11	帯広大谷学園	R5	短期大学の学科 増設	帯広大谷短期大学	看護学科			・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人の平均値に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】(帯広大谷短期大学看護学科、生活科学科)
12	加計学園	H30	学部増設	岡山理科大学	獣医学部			・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】(岡山理科大学理学部物理学科、化学科、工学部応用化学科、生命医原工学科、教育学部中等教育学科、千葉科学大学薬学部薬学科、危機管理学部動物危機管理学科)
13	神山学園	R5	法人新設(高等 専門学校新設)	神山まるごと高等専門学校	デザイン・エンジニアリング学科	・会議の運営に関し、以下の事項については、私立学校法第42条において、あらかじめ評議員会の意見を聴く必要があるため、評議員会において必ず諮問すること。【法令違反】(令和4年度補正予算)	・監事監査において教学監査を実施していないことから、今後の監査に関する計画(監査項目及び実施体制等)を改めること。【是正】 ・令和5年5月に理事会及び評議員会を合同で開催しているが、理事会と評議員会は別の機関であり、それぞれ役割が異なることから、その趣旨を鑑み、別に開催すること。その上で、以下の事項についてはその開催の順序に留意すること。【是正】(令和4年度決算・令和4年度監事の監査報告)	

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
14	河崎学園	R4	大学院新設	大阪河崎リハビリテーション大学大学院	リハビリテーション研究科(M)			・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】(大阪河崎リハビリテーション大学リハビリテーション学部リハビリテーション学科)
15	関西医科大学	R3	学部増設	関西医科大学	リハビリテーション学部			
16	菊武学園	R3	学部の学科増設	名古屋産業大学	現代ビジネス学部経営専門職学科		・定員充足率が極めて低いことから、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】(名古屋産業大学現代ビジネス学部経営専門職学科、名古屋経営短期大学健康福祉学科) ・大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針(リスクシナリオ)について、完成年度時点での収支が均衡する在籍学生の数(損益分岐点)を算出し、特にマイナスの状態が続いている部門においては、収入の増加と支出の削減に関する方策の効果を更に分析し、当該分析結果を踏まえた上で中長期的な財務計画を立案するとともに、当該計画を着実に実施すること。【是正】	・負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】(名古屋経営短期大学未来キャリア学科、子ども学科) ・学生確保の取組について、定員未充足の要因の分析結果や、これまで実施した個々の取組の効果等の検証結果を踏まえて、法人の学生募集に係る戦略を明確化させ、当該戦略に基づく具体的な計画を新たに策定し、実行すること。例えば、オープンキャンパスや高校訪問において、既設の現代ビジネス学科との違いを明確にした上で専門職学科としての強みを活かした企画を展開することや、既設の短期大学と同様に資料請求者を把握・分析し、受験対象となる者への積極的な広報に努めるなどの改善を図ること。【改善】
17	北里研究所	R5	学部増設	北里大学	未来工学部	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】(代表権登記)	・会議の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【是正】【・理事会及び評議員会の開催順序(・令和3年度決算)】	
18	京都産業大学	R4	研究科増設	京都産業大学大学院	現代社会学研究科(M)			
19	京都女子学園	R5	学部増設	京都女子大学	データサイエンス学部			
20	共立女子学園	R2	学部増設	共立女子大学	ビジネス学部			・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】(共立女子短期大学文科)
21	響和会	R3	組織変更(専門職大学新設)	和歌山リハビリテーション専門職大学	健康科学部			・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】(和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科)
22	巨樹の会	R4	組織変更(大学新設)	令和健康科学大学	看護学部、リハビリテーション学部		・監事監査において教学監査を実施していないことから、今後の監査に関する計画(監査項目及び実施体制等)を改めること。【是正】	
23	金城学院	R4 R4	学部増設 研究科増設	金城学院大学 金城学院大学大学院	看護学部 薬学研究科(D)			・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】
24	金蘭会学園	R4	大学院新設	千里金蘭大学大学院	看護学研究科(M)			・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】(千里金蘭大学教育学部教育学科)

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
25	敬心学園	R2	組織変更（専門職大学新設）	東京保健医療専門職大学	リハビリテーション学部		<ul style="list-style-type: none"> ・役員報酬規程について、以下の点に留意し、適切に整備すること。【是正】 ○監事の報酬に関する規程について、インターネットの利用により遺漏なく公表すること。 ○役員の役員報酬以外の報酬について、その算定の根拠となる規程を整理すること。例えば、顧問契約を結んでいる役員については、顧問規程を設ける等、その報酬の妥当性を明確にすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（東京保健医療専門職大学リハビリテーション学部作業療法学科） ・定員未充足が継続した場合の財務や教育研究への影響を十分に分析し、当該分析結果を踏まえた上で、法人全体のリスクシナリオを策定し、機動的に実施できる態勢を整えること。【改善】 ・法人内の監査体制について、特に以下の点に留意し、体制の強化に努めること。【改善】 ○監事、会計監査人、内部監査室がそれぞれの役割を十分に認識した上で、連携を図ることにより、監査体制の充実を図ること。 ○監事は私立学校法に定める職務を理解し、特に教学監査では、設置校の状況をよく把握した上で具体的な項目を設定する等により、監査の充実を図ること。
26	研伸学園	R5	大学院新設	一宮研伸大学大学院	看護学研究科(M)			<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度中に開催された評議員会の実出席率が低いことから、実出席を増やすよう努めること。【改善】
27	高知学園	H31 R2	専門職大学新設 大学新設	高知リハビリテーション 専門職大学 高知学園大学	リハビリテーション学部 健康科学部		<ul style="list-style-type: none"> ・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（高知学園短期大学歯科衛生学科） ・定員未充足の状態が継続していることにより、学校法人の財務状況が悪化傾向にあるため、要因分析を十分にを行い、その改善に取り組むこと。【改善】 	
28	高野山学園	R3	学部の学科増設	高野山大学	文学部教育学科		<ul style="list-style-type: none"> ・監事監査において教学監査を実施していないことから、今後の監査に関する計画（監査項目及び実施体制等）を改めること。【是正】 ・定員充足率が極めて低いことから、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】（高野山大学文学部教育学科） ・大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針（リスクシナリオ）について、完成年度時点での収支が均衡する在籍学生の数（損益分岐点）を算出し、特にマイナスの状態が継続している部門においては、収入の増加と支出の削減に関する方策の効果を更に分析し、当該分析結果を踏まえた上で中長期的な財務計画を立案するとともに、当該計画を着実に実施すること。また、どのような場合にどのような方策をとっていくかが不明確であることから、改めて具体性のあるリスクシナリオを作成すること。【是正】 	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長と監事が現在、別法人等で上下関係にあることから、監査の独立性が確保できる環境の整備に努めること。【改善】 ・文学部教育学科の学生確保の取組については、定員未充足の要因の分析結果、これまで実施した個々の取組の効果、定員が充足している総合校の分析等の検証結果を踏まえて、法人の学生募集に係る戦略を明確化させ、当該戦略に基づく具体的な計画を新たに策定し、実行すること。例えば、学生募集地域の検討にあたっては、当該地域の高校生等への進学希望調査等の客観的な根拠に基づく分析等を踏まえて検討すること。【改善】
29	國學院大學	R4	学部増設	國學院大學	観光まちづくり学部			
30	国際医療福祉大学	H29	学部増設	国際医療福祉大学	医学部			
31	国際ビジネス学院	R3	組織変更（専門職大学新設）	かなざわ食マネジメント 専門職大学	フードサービスマネジメント学部		<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が極めて低いことから、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】（かなざわ食マネジメント専門職大学フードサービスマネジメント学部フードサービスマネジメント学科） ・大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針（リスクシナリオ）について、完成年度時点での収支が均衡する在籍学生の数（損益分岐点）を算出し、特にマイナスの状態が継続している部門においては、収入の増加と支出の削減に関する方策の効果を更に分析し、当該分析結果を踏まえた上で中長期的な財務計画を立案するとともに、当該計画を着実に実施すること。【是正】 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生確保の取組について、定員未充足の要因の分析結果や、これまで実施した個々の取組の効果等の検証結果を踏まえて、法人の学生募集に係る戦略を明確化させ、当該戦略に基づく具体的な計画を新たに策定し、実行すること。例えば、オープンキャンパスにおいて本学の強みや専門性を活かした企画を展開することや、既設の専門学校の取組実績を分析しその結果を反映させるなどの改善を図ること。【改善】

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
32	越原学園	H31 R4	学部増設 学部増設	名古屋女子大学 名古屋女子大学	健康科学部 医療科学部		<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が極めて低いことから、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】（名古屋女子大学医療科学部作業療法学科、名古屋女子大学短期大学部生活学科、保育学科第一部） ・学生募集の停止により、在籍する学生がいけない組織については、廃止等の措置を講ずること。【是正】（名古屋女子大学家政学部食物栄養学科） ・大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針（リスクシナリオ）について、完成年度時点での収支が均衡する在籍学生の数（損益分岐点）を算出し、収入の増加と支出の削減に関する方策の効果を更に分析し、当該分析結果を踏まえた上で中長期的な財務計画を立案するとともに、当該計画を着実に実施すること。【是正】 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（名古屋女子大学健康科学部健康栄養学科、医療科学部理学療法学科、文学部児童教育学科） ・学生確保の取組について、定員未充足の要因の分析結果や、これまで実施した個々の取組の効果等の検証結果を踏まえて、各取組における目標数や効果等を明確にした上で、法人の学生募集に係る戦略に基づく具体的な計画を新たに策定し、実行すること。例えば、資料請求数を増やすための取組を拡大すると共に、資料請求者を把握・分析し、受験対象となる者への積極的な広報に努めるなどの改善を図ること。【改善】
33	佐久学園	R3	学部増設	佐久大学	人間福祉学部		<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が極めて低いことから、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】（佐久大学人間福祉学部人間福祉学科） ・近年、経常収支差額がマイナスの状態に継続していることから、経営基盤の安定化に向けて、まず、完成年度時点での収支が均衡する在籍学生の数（損益分岐点）を算出し、学校法人全体の収入の増加と支出の削減に関する方策とその効果を分析した上で、中長期を見据えた財務計画及びリスクシナリオを立案するとともに、当該計画を着実に実施すること。【是正】 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生確保の取組について、定員未充足の要因の分析結果や、これまで実施した個々の取組の効果等の検証結果を踏まえて、法人の学生募集に係る戦略を明確化させ、早急に当該戦略に基づく具体的な計画を新たに策定し、実行すること。【改善】
34	修文学院	R2	学部増設	修文大学	医療科学部		<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】（修文大学健康栄養学部管理栄養学科、修文大学短期大学部幼児教育学科第一部） 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員と監事が親族関係にあることから、利益相反を適切に防止することができる者を選任するなど、監事の独立性の担保に努めること。【改善】 ・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人の平均値に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上に取り組むこと。【改善】 ・負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。【改善】
35	松蔭学園	R5	研究科増設	松蔭大学大学院	看護学研究科(M)		<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】（松蔭大学コミュニケーション文化学部子ども学科、観光メディア文化学部観光文化学科、メディア情報文化学科） 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（松蔭大学経営文化学部経営法学科、コミュニケーション文化学部異文化コミュニケーション学科、生活心理学科、看護学部看護学科）
36	尚綱学園	R5	学部増設	尚綱大学	こども教育学部		<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が極めて低いことから、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】（尚綱大学こども教育学部こども教育学科） ・大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針（リスクシナリオ）について、完成年度時点での収支が均衡する在籍学生の数（損益分岐点）を算出し、収入の増加と支出の削減に関する方策の効果を更に分析し、当該分析結果を踏まえた上で中長期的な財務計画を立案するとともに、当該計画を着実に実施すること。【是正】 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（尚綱大学現代文化学部文化コミュニケーション学科、尚綱大学短期大学部総合生活学科） ・学生確保の取組について、定員未充足の要因の分析結果や、これまで実施した個々の取組の効果等の検証結果を踏まえて、法人の学生募集に係る戦略を明確化させ、当該戦略に基づく具体的な計画を新たに策定し、実行すること。【改善】
37	昌賢学園	R3	学部増設	群馬医療福祉大学	医療技術学部		<ul style="list-style-type: none"> ・会議の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【是正】【・理事会及び評議員会の開催順序（令和4年度補正予算）】 ・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】（群馬医療福祉大学短期大学部医療福祉学科） 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
38	湘南ふれあい学園	R3	学部増設	湘南医療大学	薬学部		<p>・定員充足率が極めて低いことから、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】（湘南医療大学薬学部医療薬学科）</p> <p>・大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針（リスクシナリオ）について、定員未充足が長期間継続した場合の財務シミュレーションがなされていないため、収入の増加と支出の削減に関する方策の効果を更に分析し、当該分析結果を踏まえた上で中長期的な財務計画を立案するとともに、当該計画を着実に実施すること。【是正】</p>	<p>・財務状況に関する複数の比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】</p> <p>・学生確保の取組について、これまで実施した個々の取組の効果等の検証結果を踏まえて、各取組における目標数や効果等を明確にした上で、法人の学生募集に係る戦略に基づく具体的な計画を新たに策定し、実行すること。例えば、オープンキャンパスにおいて、競合校と比較した際の本学の強みを活かした企画を展開するなどの改善を図ること。【改善】</p>
39	昭和女子大学	R5	研究科増設	昭和女子大学大学院	福祉社会・経営研究科(P)		<p>・会議の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【是正】【・理事会及び評議員会の開催順序（・令和5年度補正予算・令和4年度監事の監査報告）】</p>	
40	滋慶学園	R5	組織変更（専門職大学新設）	東京情報デザイン専門職大学	情報デザイン学部	<p>・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】（代表権登記）</p> <p>・財務書類等の備付が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】</p>		
41	順天堂	H31 R5 R5	学部増設 学部増設 研究科増設	順天堂大学 順天堂大学 順天堂大学大学院	保健医療学部 健康データサイエンス学部 保健医療学研究科(M)			
42	城西大学	R5	研究科増設	城西国際大学大学院	健康科学研究科(M)	<p>・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】（代表権登記）</p>	<p>・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（城西国際大学ビジネス総合学科、城西国際大学福祉総合学部福祉総合学科、薬学部医療薬学科）</p>	
43	常翔学園	R2 R2 R5	学部増設 学部増設 学部増設	摂南大学 広島国際大学 摂南大学	農学部 健康スポーツ学部 現代社会学部		<p>・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（広島国際大学健康科学部医療福祉学科）</p>	
44	神野学園	R2	学部増設	岐阜医療科学大学	薬学部		<p>・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】</p>	
45	駿河台大学	R2	学部増設	駿河台大学	スポーツ科学部			
46	青淵学園	H31 R3	学部の学科増設 学部の学科増設	東都大学 東都大学	冨張ヒューマンケア学部理療法学科 冨張ヒューマンケア学部臨床工学科	<p>・定員充足率が極めて低いことから、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】（東都大学冨張ヒューマンケア学部臨床工学科）</p> <p>・大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針（リスクシナリオ）について、完成年度時点での収支が均衡する在籍学生の数（損益分岐点）を算出し、特にマイナスの状態が続いている部門においては、収入の増加と支出の削減に関する方策の効果を更に分析して、当該分析結果を踏まえた上で財務計画を立案するとともに、当該計画を着実に実施すること。【是正】</p>	<p>・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（東都大学管理栄養学部管理栄養学科）</p> <p>・学生確保の取組について、志願者に関する分析を十分に行い、その結果を踏まえて、入学対象者のニーズに適った学生募集に係る戦略を明確化させ、当該戦略に基づく計画を新たに策定し、実行すること。例えば、オープンキャンパスや高校訪問において、競合校を明確にした上で本学部の強みを活かした企画を展開することや、資料請求者を把握・分析し、受験対象となる者への積極的な広報に努めるなどの改善を図ること。【改善】</p>	
47	聖カタリナ学園	R4	大学院新設	聖カタリナ大学大学院	看護学研究科(M)	<p>・監事監査において教学監査を実施していないことから、今後の監査に関する計画（監査項目及び実施体制等）を改めること。【是正】</p>	<p>・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（聖カタリナ大学人間健康福祉学部社会福祉学科）</p>	

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
48	園田学園	R3	学部増設	園田学園女子大学	経営学部		<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】（園田学園女子大学経営学部ビジネス学科） ・大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針（リスクシナリオ）について、完成年度時点での収支が均衡する在籍学生の数（損益分岐点）を算出し、入学定員を減じたことに伴い見込まれる財務状況への影響も勘察し、収入の増加と支出の削減に関する方策の効果を更に分析すること。その上で、当該分析結果を踏まえた中長期的な財務計画を立案するとともに、当該計画を着実に実施すること。【是正】 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（園田学園女子大学人間教育学部児童教育学科、園田学園女子大学短期大学部幼児教育学科）
49	高木学園	H31 R3	組織変更（大学新設） 大学の学部の設置者変更	福岡国際医療福祉大学 福岡国際医療福祉大学	医療学部 看護学部			
50	高崎健康福祉大学	H31 R4	学部増設 研究科増設	高崎健康福祉大学 高崎健康福祉大学大学院	農学部 農学研究科(M.D)		<ul style="list-style-type: none"> ・会議の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【是正】【・理事会及び評議員会の開催順序（令和4年度当初予算）】 	<ul style="list-style-type: none"> ・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人の平均値に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上に取り組むこと。【改善】
51	中京学院	R2	法人新設（設置者変更）	中京学院大学 中京学院大学短期大学部	経営学部、看護学部 健康栄養学科、保育科		<ul style="list-style-type: none"> ・監事監督において、十分な教学監督を実施していないことから、今後の監督に関する計画（監査項目及び実施体制等）を策定し、実施すること。【是正】 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（中京学院大学経営学部経営学科、中京学院大学短期大学部保育科） ・学生確保の取組について、教職員を含む法人全体が定員未充足の状況に対する共通の課題意識を持ち、定員未充足の要因の分析結果や、これまで実施した個々の取組の効果等の検証結果を踏まえて、法人の学生募集に係る戦略を明確化させ、当該戦略に基づき具体的な計画を新たに策定し、実行すること。例えば、経営学部の新たな教育プログラムについて、具体的な教育内容や育成する人材像、想定する卒業後の進路が、学生募集地域において十分に理解されるような広報活動を行うなどの改善を図ること。【改善】 ・「学校法人中京学院経営改善計画」について、経営改善に向けた取組内容、責任者、担当者、実施時期などを具体化させ、教職員を含む法人全体の共通認識の下、当該計画を確実に遂行すること。【改善】
52	筑波学園	R4	組織変更（専門職大学新設）	アール医療専門職大学	リハビリテーション学部			<ul style="list-style-type: none"> ・独立監査人による監査報告は決算確定後の計算書類に基づき行うこと。【改善】
53	都築学園	R2 R2 R3	学部増設 大学院新設 大学院新設	第一薬科大学 日本薬科大学大学院 第一薬科大学大学院	看護学部 薬学研究科(D) 薬学研究科(D)		<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】（第一薬科大学薬学部薬科学科、神戸医療未来大学人間社会学部健康スポーツコミュニケーション学科） 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（第一薬科大学薬学部漢方薬学科、神戸医療未来大学人間社会学部健康スポーツコミュニケーション学科）
54	津曲学園	R5	学部増設	鹿児島国際大学	看護学部		<ul style="list-style-type: none"> ・会議の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【是正】【・理事会及び評議員会の開催順序（令和3年度決算）】 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（鹿児島国際大学国際文化学部音楽学科）
55	天理大学	R5	大学の学部の設置者変更	天理大学	医療学部		<ul style="list-style-type: none"> ・監事監督において教学監督を実施していないことから、今後の監督に関する計画（監査項目及び実施体制等）を改めること。【是正】 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（天理大学人間学部宗教学科、国際学部外国語学科）
56	電子学園	R2	組織変更（専門職大学新設）	情報経営イノベーション専門職大学	情報経営イノベーション学部			<ul style="list-style-type: none"> ・学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の学校法人の平均値に比べ低いことから、学生生徒等納付金の学生への還元に取り組むこと。【改善】
57	東海大学	R4	学部増設	東海大学	児童教育学部		<ul style="list-style-type: none"> ・監事監督において教学監督を実施していないことから、今後の監督に関する計画（監査項目及び実施体制等）を改めること。【是正】 	

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
58	東京国際大学	R3	学部増設	東京国際大学	医療健康学部			
59	東北医科薬科大学	H28 R5	学部増設 研究科増設	東北医科薬科大学 東北医科薬科大学大学院	医学部 医学研究科(D)			
60	常盤大学	R4	研究科増設	常盤大学大学院	看護学研究科(M)			
61	徳洲会	R2 R4	大学新設(大学新設) 大学院新設	湘南鎌倉医療大学 湘南鎌倉医療大学大学院	看護学部 看護学研究科(M,D)			<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度中に開催された評議員会の実出席率が低いことから、実出席を増やすよう努めること。【改善】 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人の平均値に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に取り組むこと。【改善】
62	富澤学園	R3	学部の学科増設	東北文科大学	人間科学部人間関係学科		<ul style="list-style-type: none"> 定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】(東北文科大学短期大学部現代福祉学科) 	
63	豊田学園	H31 R3 R3	大学新設 学部増設 大学院新設	岐阜保健大学 岐阜保健大学 岐阜保健大学大学院	看護学部 リハビリテーション学部 看護学研究科(M)	<ul style="list-style-type: none"> 財務書類等の備付が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】 	<ul style="list-style-type: none"> 監事監査において教学監査を実施していないことから、今後の監査に関する計画(監査項目及び実施体制等)を改めること。【是正】 定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】(岐阜保健大学リハビリテーション学部作業療法学科) 	<ul style="list-style-type: none"> 学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の学校法人の平均値に比べ低いことから、学生生徒等納付金の学生への還元に取り組むこと。【改善】
64	中西学園	R5	研究科増設	名古屋学芸大学大学院	看護学研究科(M)			<ul style="list-style-type: none"> 定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】(名古屋外国語大学外国語学部フランス語学科)
65	永守学園	R2 R2	学部増設 研究科増設	京都先端科学大学 京都先端科学大学大学院	工学部 工学研究科(M,D)			<ul style="list-style-type: none"> 定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】(京都先端科学大学人文学部歴史文化学科、バイオ環境学部バイオサイエンス学科、バイオ環境デザイン学科、食農学科、工学部機械電気システム工学科)
66	奈良学園	H31 R5	学部の学科増設 研究科増設	奈良学園大学 奈良学園大学大学院	保健医療学部 リハビリテーション学科 リハビリテーション学研究科(M)			<ul style="list-style-type: none"> 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】
67	新潟科学技術学園	R5	学部増設	新潟薬科大学	医療技術学部、看護学部	<ul style="list-style-type: none"> 登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】(代表権登記) 	<ul style="list-style-type: none"> 監事監査において教学監査を実施していないことから、今後の監査に関する計画(監査項目及び実施体制等)を改めること。【是正】 定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】(新潟工業短期大学自動車工業科) 	<ul style="list-style-type: none"> 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】(新潟薬科大学薬学部薬学科、応用生命科学部生命産業ビジネス学科)
68	新潟青陵学園	R5	学部の学科増設	新潟青陵大学	福祉心理子ども学部子ども発達学科			<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度中に開催された評議員会の実出席率が低いことから、実出席を増やすよう努めること。【改善】 登記が遅延して行われたことから、今後は寄附行為の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【改善】(R4年度資産総額の変更登記)

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
69	新潟総合学院	R2 R3	組織変更（専門職大学新設） 学部増設	開志専門職大学 開志専門職大学	事業創造学部、情報学部 アニメ・マンガ学部		・学年進行中に設置計画が事前の協議なく変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。【是正】	・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（開志専門職大学アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科） ・設置校の定員未充足の状態が継続していることにより、学校法人の財務状況が悪化傾向にあるため、要因分析を十分に行い、その改善に取り組むこと。【改善】 ・監事は、主体性をもって教学監査を含む私立学校法第37条第3項の業務監査を実施し、その役割を果たすこと。【改善】
70	新潟総合学院	R4	大学院新設	新潟食料農業大学大学院	食料産業学研究科 (M)			・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（新潟医療福祉大学リハビリテーション学部鍼灸健康学科）
71	西大和学園	R2 R3	学部増設 学部増設	大和大学 大和大学	理工学部 社会学部			・学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の学校法人の平均値に比べ低いことから、学生生徒等納付金の学生への還元に取り組むこと。【改善】 ・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人の平均値に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に取り組むこと。【改善】
72	日本医療大学	R3 R4 R4 R5	学部の学科増設 学部増設 学部の学科増設 通信教育課程設置	日本医療大学 日本医療大学 日本医療大学 日本医療大学	保健医療学部 臨床検査学科 総合福祉学部 保健医療学部 臨床工学科 通信教育部総合福祉学部 ソーシャルワーク学科		・定員充足率が極めて低いことから、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】（日本医療大学総合福祉学部介護福祉マネジメント学科、総合福祉学部ソーシャルワーク学科）	・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（日本医療大学保健医療学部臨床工学科） ・学生確保の取組について、定員未充足の要因の分析結果や、受験対象者や在学生からの期待や要望等を聴取した結果を踏まえ、法人の学生募集に係る戦略を明確化させ、当該戦略に基づく具体的な計画を策定し、実行すること。【改善】 ・日本医療大学総合福祉学部に独自の給付型奨学金制度を設けることについて、当該学部の入学志願者等の状況や学校法人の財務状況等の分析を不断に行い、安定的な運用ができるように努めること。【改善】
73	日本教育財団	H31 R2 R3 R3	専門職大学新設 専門職大学新設 専門職大学新設 専門職大学新設	国際ファッション専門職大学 東京国際工科専門職大学 大阪国際工科専門職大学 名古屋国際工科専門職大学	国際ファッション学部 工科学部 工科学部 工科学部			・学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の学校法人の平均値に比べ低いことから、学生生徒等納付金の学生への還元に取り組むこと。【改善】
74	柏専学院	R3	通信教育課程設置	新潟産業大学	経済学部経済経営学科通信教育課程			・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（新潟産業大学経済学部文化経済学科）
75	濱名山手学院	R2	大学の学部の設置者変更	関西国際大学	現代社会学部			・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（関西国際大学教育学部教育福祉学科、国際コミュニケーション学部観光学科、社会学部社会学科）
76	東日本学園	H31 R5	学部増設 研究科増設	北海道医療大学 北海道医療大学大学院	医療技術学部 医療技術科学研究科(M)			・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（北海道医療大学看護福祉学部福祉マネジメント学科）

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
77	兵庫医科大学	R4 R4 R4 R4 R4 R4	学部増設 学部増設 学部増設 研究科増設 研究科増設 研究科増設	兵庫医科大学 兵庫医科大学 兵庫医科大学 兵庫医科大学大学院 兵庫医科大学大学院 兵庫医科大学大学院	薬学部 看護学部 リハビリテーション学部 薬学研究科(D) 看護学研究科(M) 医療科学研究科(M)	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】(代表権登記)	・監事監査において教学監査を実施していないことから、今後の監査に関する計画(監査項目及び実施体制等)を改めること。【是正】	
78	広島文化学園	R4	研究科増設	広島文化学園大学大学院	人間健康学研究科(M)			・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】(広島文化学園短期大学保育学科)
79	深堀学園	R5	組織変更(専門職大学新設)	グローバルBiz専門職大学	グローバルビジネス学部	・財務書類等の備付が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】	・会議の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【是正】 【・理事会及び評議員会の開催順序(令和5年度補正予算)】 ・理事会及び評議員会の委任状の様式について、白紙委任状とともれる記載があることから、その内容を改めること。【是正】 ・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】(グローバルBiz専門職大学グローバルビジネス学部グローバルビジネス学科) ・大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針(リスクシナリオ)について、マイナスの状態が継続している部門においては、収入の増加と支出の削減に関する方策の効果を更に分析し、当該分析結果を踏まえた上で中長期的な財務計画を立案するとともに、当該計画を着実に実施すること。【是正】	・定員充足率が極めて低いことから、定員未充足を学校法人全体の課題と捉え、以下の観点を踏まえて学生募集活動について改善を図ること。【改善】 ○入学対象者を明確にした上で、定員未充足の要因の分析結果や、これまで実施した個々の取組の効果等の検証結果を踏まえて、法人の学生募集に係る戦略を明確化させ、当該戦略に基づく具体的な計画を新たに策定し、実行すること。 ○競合校を客観的な根拠に基づいて改めて選定した上で、競合校との比較分析を不断に行い、学生募集活動に反映させること。 ○学生募集活動に係る事務体制を強化し、理事長の理念を具現化できる体制の確立に努めること。 ・法人内におけるけん制機能、自律的な違法是正がなされるよう、特に以下に留意し、監査体制の整備に取り組むこと。【改善】 ○監事は、監査計画を策定した上で、教学監査を含む私立学校法第37条第3項の業務監査を適切に行うこと。 ○監事間の役割分担を明確にした上で、監事の支援体制の充実に努めること。
80	福岡女学院	R5	大学院新設	福岡女学院看護大学大学院	看護学研究科(M)		・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】(福岡女学院大学短期大学部英語科)	
81	福島学院	R5	学部増設	福島学院大学	マネジメント学部	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】(代表権登記)	・学年進行中に設置計画が事前の協議なく変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。【是正】 ・定員充足率が極めて低いことから、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】(福島学院大学マネジメント学部地域マネジメント学科) ・大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針(リスクシナリオ)について、完成年度時点での収支が均衡する在籍学生の数(損益分岐点)を算出し、収入の増加と支出の削減に関する方策の効果を更に分析し、当該分析結果を踏まえた上で中長期的な財務計画を立案するとともに、当該計画を着実に実施すること。【是正】	・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】(福島学院大学短期大学部保育学科、食物栄養学科) ・学生確保の取組について、定員未充足の要因の分析結果や、これまで実施した個々の取組の効果等の検証結果を踏まえて、法人の学生募集に係る戦略を明確化させ、当該戦略に基づく具体的な計画を新たに策定し、実行すること。例えば、進路ガイダンスの参加者を把握・分析し、受験対象となる者への積極的な広報に努めるなどの改善を図ること。【改善】
82	福原学園	R4 R5	研究科増設 学部の学科増設	九州共立大学大学院 九州女子大学	経済・経営学研究科(M) 人間科学部児童・幼児教育学科			・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】(九州女子大学家政学部生活デザイン学科)
83	文理学園	R5	学部増設	日本理科大学	保健医療学部		・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】(日本理科大学工学部航空宇宙工学科)	

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
84	平成医療学園	R4	学部の学科増設	宝塚医療大学	和歌山保健医療学部看護学科	・財務書類等の備付が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】	・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】（宝塚医療大学保健医療学部口腔保健学科）	・負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。【改善】 ・法人内におけるけん制機能、自律的な違法行為の是正がなされるよう、監事自身が私立学校法に定める監事の職務を十分に理解した上で、その役割を果たすこと。【改善】
85	北陸学院	R5	学部増設	北陸学院大学	健康科学部		・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】（北陸学院大学教育学部幼児教育学科） ・学生募集の停止により、在籍する学生がいない組織については、廃止等の措置を講ずること。【是正】（北陸学院大学人間総合学部子ども教育学科、社会学科、北陸学院大学短期大学部食物栄養学科、コミュニティ文化学科）	・負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（北陸学院大学教育学部初等中等教育学科、社会学部社会学科、北陸学院大学健康科学部栄養学科）
86	北陸大学	R5	学部の学科増設	北陸大学	医療保健学部理学療法学科	・財務書類等の備付が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】		・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（北陸大学薬学部薬学科）
87	松商学園	R4	研究科増設	松本大学大学院	総合経営研究科(M)			・令和4年度中に開催された評議員会の実出席率が低いことから、実出席を増やすよう努めること。【改善】
88	松本学園	R3	大学新設	松本看護大学	看護学部			・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（松本短期大学介護福祉学科）
89	ミスリ学園	R5	組織変更（専門職大学新設）	ビューティ&ウェルネス専門職大学	ビューティ&ウェルネス学部		・監事監査において教学監査を実施していないことから、今後の監査に関する計画（監査項目及び実施体制等）を改めること。【是正】	・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（ビューティ&ウェルネス専門職大学ビューティ&ウェルネス学部ビューティ&ウェルネス学科）
90	宮崎学園	R5	大学院新設	宮崎国際大学大学院	国際教養研究科(M)			
91	武庫川学院	R2	学部増設	武庫川女子大学	経営学部		・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】（武庫川女子大学短期大学部日本語文化学科、英語キャリア・コミュニケーション学科、幼児教育学科）	・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（武庫川女子大学健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科、音楽学部演奏学科、武庫川女子大学短期大学部食生活学科、生活造形学科）
92	本山学園	R2	組織変更（専門職大学新設）	岡山医療専門職大学	健康科学部		・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】（岡山医療専門職大学健康科学部作業療法学科）	・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態で継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（岡山医療専門職大学健康科学部理学療法学科） ・法人内におけるけん制機能、自律的な違法行為は正がなされるよう、特に以下に留意し、監査体制の整備に取り組むこと。【改善】 ○監事は、監査計画を策定した上で、教学監査を含む私立学校法第37条第3項の業務監査を実施すること。 ○内部監査組織を設置する等、法人内におけるけん制機能を充実させること。 ・学長を始めとした理事は、設置校の現場との連携を十分に図り、教学側の意見が適切に反映し得る体制の構築に努めること。【改善】
93	吉田学園	R5	大学院新設	札幌保健医療大学大学院	保健医療学研究科(M)			・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（札幌保健医療大学保健医療学部栄養学科）

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
94	立教学院	R5	研究科増設	立教大学大学院	スポーツウエルネス学研究科(M.D)		・評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。【是正】	
95	立正大学学園	R3	学部増設	立正大学	データサイエンス学部		・学年進行中に設置計画が事前の協議なく変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。【是正】	
96	柳城学院	R2	大学新設	名古屋柳城女子大学	こども学部		・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。【改善】（名古屋柳城女子大学こども学部こども学科）	
97	医療創生大学	H31	学部増設	医療創生大学	健康医療科学部		・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】	
98	大垣総合学園	H31	学部増設	岐阜協立大学	看護学部		・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】	
99	大谷学園	H31	研究科増設	大阪大谷大学大学院	薬学研究科(D)		・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】	
100	沖縄大学	H31	学部増設	沖縄大学	健康栄養学部			
101	片柳学園	R3	研究科増設	東京工科大学大学院	医療技術学研究科(M)			
102	共愛学園	R3	大学等の設置者変更	共愛学園前橋国際大学短期大学部	生活学科			
103	四天王寺学園	H31 R2	学部増設 研究科増設	四天王寺大学 四天王寺大学大学院	看護学部 看護学研究科(M.D)			
104	四徳学園	H31 R3	学部増設 大学院新設	長野保健医療大学 長野保健医療大学大学院	看護学部 保健学研究科(M)			
105	清泉女学院	H31 R3	学部増設 大学院新設	清泉女学院大学 清泉女学院大学大学院	看護学部 看護学研究科(M)		・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】	
106	先端教育機構	R3	研究科増設	社会構想大学院大学	実務教育研究科(P)			
107	調布学園	H31	学部増設	田園調布学園大学	人間科学部			
108	都築第一学園	H31	大学院新設	横浜薬科大学大学院	薬学研究科(M.D)			

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
109	新田塚学園	R3	大学院新設	福井医療大学大学院	保健医療学研究科(M)			
110	二戸学園	R3	大学院新設	岩手保健医療大学大学院	看護学研究科(M)			
111	日本国際学園	H31	法人新設(設置者変更)	筑波学院大学	経営情報学部			
112	日本福祉大学	R3	研究科増設	日本福祉大学大学院	スポーツ科学研究科(M)			
113	福岡学園	R3	大学院新設	福岡看護大学大学院	看護学研究科(M)			・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】
114	文京学院	R3	研究科増設	文京学院大学大学院	看護学研究科(M)			
115	睦学園	R2	研究科増設	兵庫大学大学院	看護学研究科(M,D)			・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】
116	明海大学	H31	学部増設	明海大学	保健医療学部			
117	ヤマザキ学園	R3	大学院新設	ヤマザキ動物看護大学大学院	動物看護学研究科(M)			
118	悠久崇徳学園	H31	組織変更(大学新設)	長岡崇徳大学	看護学部			・負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。【改善】
119	和歌山信愛女学院	H31	大学新設	和歌山信愛大学	教育学部			・近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】